

045

手作り防災紙芝居「みんなができること 災害を忘れないで」の活用

取組主体

子育てサロン∞本郷

従業員数

想定災害

実施地域

9人

全般

広島県

- 平成30年7月豪雨の被災経験から、過去の災害を忘れないために紙芝居を作成した。参加型の紙芝居となっており、親子で防災について考えるきっかけを提供している。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

災害を忘れないための参加型紙芝居の実演や貸出を実施

- 広島県三原市において子育て支援活動を行う子育てサロン∞（無限大）本郷は、平成30年7月豪雨で子育て支援センターが被災し、0歳から未就園児親子の集う場所が無くなったことをきっかけに、災害を忘れないために手作り防災紙芝居を作成し、実演や貸出を行っている。
- 平成30年7月豪雨で被災した0歳から未就園児親子から聞き取りをした内容をもとに、災害を忘れないために紙芝居で分かりやすく伝えようと、同サロンのメンバーと地域子育て支援者で脚本を作成した。絵の作成を依頼し、三原市民提案型協働事業の助成金を受けて紙芝居を2セット完成した。手作り防災紙芝居の貸出もスタートし、地元の中学校の授業で防災紙芝居を取り上げてもらうことで、三原市全域で普及啓発活動を展開している。
- リュックサックからラミネート加工した避難グッズの絵を取り出し、子どもたちに付属のホワイトボードに貼ってもらう参加型の紙芝居となっている。あらゆる年齢の方や、アレルギーや障がいを持つ方等にも、避難グッズを使う際のポイント等を伝えている。
- 紙芝居を見た親子からは、親子で災害時の話ができ、帰宅して一緒に避難グッズの準備ができたなどの声を聞いている。紙芝居のほかに防災ボードゲーム、非常食の体験等を交えた防災イベントを開催し、防災・減災意識の向上を図っている。



手作り防災紙芝居の実演の様子

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- いつ起こるか分からない有事に備え、可能な限り実演や貸出を実施している。いつでも最新情報が伝えられるように脚本の原稿を更新し、メンバー一人ひとりが実演できるようにしている。

3 現状の課題・今後の展開等

- まだまだ紙芝居を十分に活用できていないため、今後もできる限り活用し、貸出のお知らせも強化していく。
- 他の団体との連携をとり、有事に助け合えるような組織づくりをしていきたいと考えている。

担当者の声

- いつどこで災害が起こるか分からない昨今ですが、0歳から未就園児親子向けの避難訓練や防災イベントが少ない現状があります。そんな中で私たちは、0歳から未就園児親子に特化して、いつでも寄り添える活動を目指しています。大きな災害が起こらないことを願いながらも、共に防災・減災意識を高めるために、日常から楽しく分かりやすく体験することができたらと考えています。

問合せ先

子育てサロン∞本郷

TEL：0848-86-1936 FAX：0848-86-1936 E-Mail：syokomkuro@mail.goo.ne.jp